



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 I D E C株式会社  
 コード番号 6652 URL <http://jp.idec.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 船木 俊之  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理担当 (氏名) 西山 嘉彦 TEL 06-6398-2500  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 2022年11月28日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	43,180	23.9	7,559	55.8	8,140	62.1	5,694	61.4
2022年3月期第2四半期	34,856	37.3	4,853	198.5	5,022	230.6	3,526	223.5

（注）包括利益 2023年3月期第2四半期 9,868百万円（107.9％） 2022年3月期第2四半期 4,746百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	196.01	195.14
2022年3月期第2四半期	117.58	117.58

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	104,808	57,472	54.5
2022年3月期	94,960	49,008	51.2

（参考）自己資本 2023年3月期第2四半期 57,171百万円 2022年3月期 48,660百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	40.00	—	60.00	100.00
2023年3月期	—	65.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	65.00	130.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有  
 詳細は、本日公表の「剰余金の配当および期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	83,500	18.0	13,400	38.5	14,000	34.6	9,400	19.0	323.77

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	33,224,485株	2022年3月期	33,224,485株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	4,083,209株	2022年3月期	4,216,940株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	29,049,046株	2022年3月期2Q	29,994,407株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	11
(会計方針の変更)	11
(セグメント情報等)	12
3. 補足情報	13
(1) 連結業績概要	13
(2) 製品別売上高	13
(3) 仕向地別売上高	14
(4) 受注実績	15
(5) キャッシュ・フローの状況	15
(6) 設備投資額	15
(7) 減価償却費	15
(8) 研究開発費	15

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間においては、原材料価格の高騰及び部材調達の逼迫化等の懸案要因はあったものの、グローバルベースでの製造業の設備投資需要は昨年度同様に極めて堅調に推移いたしました。

このような状況の中、当社グループにおいては、当連結会計年度を初年度とする新中期経営計画の目標達成に向け、ソリューション提供力のより一層の強化とデジタル関連・自動車関連・工作機械・ロボット業界等を中心にグローバルベースでさらに拡大している需要、市場要求に柔軟に対応することによって、主力のスイッチ事業・安全防犯事業を中心に売上が増加した結果、対前年同期比で、売上高・営業利益ともに大幅な増収増益となりました。

内訳としては、国内売上高は172億6千4百万円（前年同期比17.8%増）となり、海外においても、中国上海でのロックダウンによる影響もごく一時的なものにとどまり、全エリアにおいて大幅な増収となり、為替の円安効果も加わって海外売上高は259億1千6百万円（前年同期比28.3%増）となりました。これにより、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は431億8千万円（前年同期比23.9%増）となりました。

利益面においては、増収効果とともに売価の適正化も順調に進み、原材料価格高騰の影響も克服して、売上総利益率は前年同期比で上昇し、さらには販売費及び一般管理費の水準適正化による販売管理費比率の低減効果と円安による増益効果もあって、営業利益は前年同期に比べ、27億5百万円増益の75億5千9百万円（前年同期比55.8%増）、経常利益は前年同期に比べ、31億1千8百万円増益の81億4千万円（前年同期比62.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期に比べ、21億6千7百万円増益の56億9千4百万円（前年同期比61.4%増）となりました。

以上による当第2四半期連結累計期間における業績結果は以下のとおりです。

	2022年3月期 第2四半期連結累計期間	2023年3月期 第2四半期連結累計期間	比較増減	増減率
売上高(百万円)	34,856	43,180	+8,323	+23.9%
売上総利益(百万円)	14,919	19,006	+4,086	+27.4%
売上総利益率(%)	42.8	44.0	+1.2	—
営業利益(百万円)	4,853	7,559	+2,705	+55.8%
営業利益率(%)	13.9	17.5	+3.6	—
経常利益(百万円)	5,022	8,140	+3,118	+62.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益(百万円)	3,526	5,694	+2,167	+61.4%

(為替レート)

米ドル平均レート(円)	109.81	134.04	+24.23	—
ユーロ平均レート(円)	129.88	134.39	+4.51	—
人民元平均レート(円)	16.99	19.89	+2.90	—

なお、当第2四半期連結累計期間のセグメント別の業績は次のとおりであります

## 【日本】

日本においては、昨年度に引き続き半導体関連・自動車関連・工作機械・ロボット業界等の需要が堅調に推移し、主力製品を中心に市場要求に的確に対応した結果、売上高は前年同期に比べ、33億1千6百万円増収の196億2千7百万円（前年同期比20.3%増）となり、営業利益は前年同期に比べ、14億9千4百万円増益の37億5千9百万円（前年同期比66.0%増）となりました。

## 【米州】

北米地域においても、高水準での需要が継続するとともに為替の大幅な円安効果もあり、売上高は前年同期に比べ、20億4千9百万円増収の77億8千1百万円（前年同期比35.8%増）となり、営業利益は前年同期に比べ、4億7千1百万円増益の13億3千7百万円（前年同期比54.4%増）となりました。

**【欧州、中東及びアフリカ（以下、EMEA）】**

欧州も、日本及び米州同様、制御用操作スイッチなど主力のスイッチ事業の売上が増加した結果、売上高は前年同期に比べ、8億円増収の69億9百万円（前年同期比13.1%増）となり、営業利益は前年同期に比べ、2億5千万円増益の5億1千3百万円（前年同期比94.9%増）となりました。

**【アジア・パシフィック】**

アジア・パシフィック地域においては、中国上海におけるロックダウンによる影響は限定的で前年同期比増収を確保し、他のアジア地域の需要も堅調であったことから、主力製品であるスイッチ事業の制御用操作スイッチやインダストリアルコンポーネンツ事業の制御用リレーの売上が大幅に増加した結果、売上高は前年同期に比べ、21億5千6百万円増収の88億6千2百万円（前年同期比32.2%増）となり、営業利益は前年同期に比べ、7億1千9百万円増益の20億5千7百万円（前年同期比53.7%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間の製品種類別の売上高は次のとおりであります。

**【スイッチ事業】**

グローバル全地域において、昨年度に引き続き旺盛な設備投資需要に支えられた結果、売上高は前年同期に比べ、36億6千7百万円増収の200億7百万円（前年同期比22.4%増）となりました。

※HMI（Human Machine Interface：人と機械が触れ合う環境）の核となる、「制御用操作スイッチ」や「ジョイスティック」、「表示灯」などの製品群です。

**【インダストリアルコンポーネンツ事業】**

主力市場である米州及び中国市場での制御用リレーの売上が増加した結果、売上高は前年同期に比べ、17億9千7百万円増収の85億2千1百万円（前年同期比26.7%増）となりました。

※機械や生産ラインなどを制御・操作するための制御盤の中に組み込み、機械・装置の制御部分の基礎として使用される、「スイッチング電源」や「端子台」、「制御用リレー/ソケット」、「サーキットプロテクタ」などの製品群です。

**【オートメーション事業/センシング事業】**

日本、米州及びEMEAにおいて、依然としてプログラマブル表示器やプログラマブルコントローラの需要が堅調であった結果、売上高は前年同期に比べ、11億6千9百万円増収の62億4千4百万円（前年同期比23.0%増）となりました。

※産業現場や暮らしのさまざまなシーンにおける機器の自動化に貢献する各種製品、機械・装置の頭脳の役割をする「プログラマブルコントローラ」や、快適な機械・装置の操作環境を実現する「プログラマブル表示器」に加え、リテールや物流分野などさまざまな分野で活用されている「自動認識機器」などの製品群です。

**【安全・防爆事業】**

日本及び中国を中心に安全関連機器の需要が大幅に伸長していることを背景に、売上高は前年同期に比べ、12億3千7百万円増収の55億5千4百万円（前年同期比28.7%増）となりました。

※産業現場の安全を守る「安全スイッチ」や「イネーブル装置」といった「安全関連機器」に加え、石油・化学プラントなど、爆発性のガスが存在する現場での事故を未然に防ぐ「防爆関連機器」などの製品群です。

**【システム】**

日本において引き続き、半導体製造設備・物流関連設備等の制御盤の売上が堅調で、売上高は前年同期に比べ、4億8百万円増収の21億6千3百万円（前年同期比23.3%増）となりました。

※顧客ニーズに合わせてI D E Cの製品をシステム化して提供する「各種システム」、安全関連機器・安全技術を組み合わせて最適なシステムを構築する「協働ロボットシステムソリューション」などの製品群です。

**【その他】**

日本におけるその他システム関連製品の需要が増加した結果、売上高は前年同期に比べ、4千3百万円増収の6億8千8百万円（前年同期比6.8%増）となりました。

※メガソーラーや太陽光発電用電力マネジメントシステムをはじめとする「再生可能エネルギー事業」に加え、太陽光併用型農業プラントのトータルソリューションを提供する「次世代農業ソリューション」、幅広い分野での応用研究が進んでいる「ウルトラファインバブル（微細気泡）発生装置」などの事業や製品群です。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産の額は、前連結会計年度末より98億4千8百万円増加し、1,048億8百万円となりました。これは主に、棚卸資産が34億6千9百万円、売上債権が26億7百万円、有形固定資産及び無形固定資産が23億2千4百万円、現金及び預金が10億9千9百万円増加したことなどによるものです。

負債の額は、前連結会計年度末より13億8千4百万円増加し、473億3千6百万円となりました。これは主に、借入金金が5億9千万円減少した一方で、仕入債務が10億9千7百万円、リース債務が5億8千万円増加したことなどによるものです。

純資産の額は、為替換算調整勘定が42億2千1百万円、利益剰余金が39億5千3百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末より84億6千3百万円増加し、574億7千2百万円となりました。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末より3億1千7百万円増加し、155億2千1百万円となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は、次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、34億3千2百万円の収入（前年同期は52億4千5百万円の収入）となりました。これは主に、法人税等を29億1千万円納付、棚卸資産が24億6千8百万円、売上債権が20億1千9百万円増加した一方で、税金等調整前四半期純利益を81億4千7百万円計上したことや減価償却費を17億2千万円計上、仕入債務が9億3百万円増加したことなどによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、14億8千2百万円の支出（前年同期は16億7千3百万円の支出）となりました。これは主に、固定資産の取得により11億8千8百万円支出したことなどによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、23億1百万円の支出（前年同期は26億1百万円の支出）となりました。これは主に、借入の返済により5億9千万円、配当金の支払いにより17億3千4百万円を支出したことなどによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年9月22日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ（上方修正）」をご覧ください。

また、当事業年度の配当予想につきましては、以下のとおり変更しております。詳細につきましては、本日（2022年11月4日）公表いたしました「剰余金の配当および期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2023年3月期 配当予想の修正

	年間配当		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想 (2022年5月13日発表)	円 銭 50.00	円 銭 50.00	円 銭 100.00
今回修正予想	—	65.00	130.00
当期実績	65.00	—	—
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	40.00	60.00	100.00

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	17,896	18,996
受取手形及び売掛金	11,402	13,767
電子記録債権	892	1,134
商品及び製品	7,767	9,648
仕掛品	1,959	2,569
原材料及び貯蔵品	5,845	6,824
その他	1,426	1,537
貸倒引当金	△19	△25
流動資産合計	47,171	54,453
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,652	10,190
機械装置及び運搬具(純額)	2,875	3,152
工具、器具及び備品(純額)	1,609	1,662
土地	5,797	5,898
リース資産(純額)	211	211
使用権資産(純額)	1,061	1,626
建設仮勘定	1,018	689
有形固定資産合計	22,227	23,431
無形固定資産		
商標権	2,383	2,518
顧客関連資産	7,587	7,996
ソフトウェア	1,064	1,034
のれん	11,593	12,191
その他	62	71
無形固定資産合計	22,691	23,812
投資その他の資産		
投資有価証券	419	597
長期貸付金	114	80
退職給付に係る資産	326	328
繰延税金資産	1,343	1,480
その他	702	660
貸倒引当金	△36	△36
投資その他の資産合計	2,870	3,111
固定資産合計	47,789	50,355
資産合計	94,960	104,808

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,186	6,269
電子記録債務	2,183	2,197
短期借入金	3,800	4,000
1年内返済予定の長期借入金	2,105	2,230
リース債務	360	372
未払金	809	638
未払費用	2,803	3,113
未払法人税等	2,626	2,455
契約負債	584	639
預り金	207	208
製品保証引当金	40	38
その他	953	966
流動負債合計	21,660	23,130
固定負債		
長期借入金	18,260	17,345
リース債務	962	1,531
繰延税金負債	2,799	3,081
役員退職慰労引当金	45	47
退職給付に係る負債	1,577	1,528
資産除去債務	90	116
その他	556	554
固定負債合計	24,291	24,205
負債合計	45,951	47,336
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,056	10,056
資本剰余金	9,231	9,323
利益剰余金	34,022	37,975
自己株式	△7,759	△7,505
株主資本合計	45,551	49,850
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	42	34
為替換算調整勘定	3,061	7,282
退職給付に係る調整累計額	6	3
その他の包括利益累計額合計	3,109	7,320
新株予約権	311	301
非支配株主持分	37	—
純資産合計	49,008	57,472
負債純資産合計	94,960	104,808



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	34,856	43,180
売上原価	19,936	24,173
売上総利益	14,919	19,006
販売費及び一般管理費	10,066	11,446
営業利益	4,853	7,559
営業外収益		
受取利息及び配当金	20	31
持分法による投資利益	67	77
為替差益	118	646
デリバティブ評価益	32	16
その他	68	118
営業外収益合計	307	889
営業外費用		
支払利息	76	47
デリバティブ損失	—	80
その他	62	179
営業外費用合計	138	307
経常利益	5,022	8,140
特別利益		
固定資産売却益	3	4
新株予約権戻入益	—	30
特別利益合計	3	34
特別損失		
固定資産売却損	3	4
固定資産廃棄損	0	24
特別損失合計	3	28
税金等調整前四半期純利益	5,022	8,147
法人税、住民税及び事業税	1,585	2,619
法人税等調整額	△81	△128
法人税等合計	1,504	2,490
四半期純利益	3,518	5,656
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△8	△37
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,526	5,694

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	3,518	5,656
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△22	△7
為替換算調整勘定	1,255	4,221
退職給付に係る調整額	△4	△2
その他の包括利益合計	1,228	4,211
四半期包括利益	4,746	9,868
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,755	9,905
非支配株主に係る四半期包括利益	△8	△37

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	5,022	8,147
減価償却費	1,617	1,720
のれん償却額	463	432
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1	3
退職給付に係る資産及び負債の増減額	△84	△78
受取利息及び受取配当金	△20	△31
支払利息	76	47
為替差損益(△は益)	△28	△230
持分法による投資損益(△は益)	△67	△77
製品保証引当金の増減額(△は減少)	0	△2
デリバティブ損益(△は益)	△32	32
固定資産売却損益(△は益)	0	△0
固定資産廃棄損	0	24
売上債権の増減額(△は増加)	△1,225	△2,019
棚卸資産の増減額(△は増加)	△824	△2,468
前受金の増減額(△は減少)	△157	—
契約負債の増減額(△は減少)	449	7
未収入金の増減額(△は増加)	85	88
仕入債務の増減額(△は減少)	1,531	903
未払金の増減額(△は減少)	△139	△122
未払費用の増減額(△は減少)	△209	151
未払又は未収消費税等の増減額	10	75
預り金の増減額(△は減少)	△71	1
その他	△208	△271
小計	6,187	6,334
利息及び配当金の受取額	43	56
利息の支払額	△77	△48
法人税等の支払額	△908	△2,910
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,245	3,432
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,317	△2,546
定期預金の払戻による収入	1,100	2,278
有形固定資産の取得による支出	△855	△1,079
有形固定資産の売却による収入	11	12
無形固定資産の取得による支出	△168	△109
投資有価証券の取得による支出	△3	△140
投資有価証券の売却による収入	—	0
事業譲受による支出	△420	—
長期貸付金の回収による収入	34	33
その他	△53	69
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,673	△1,482

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	10,300	11,600
短期借入金の返済による支出	△11,200	△11,400
長期借入れによる収入	—	200
長期借入金の返済による支出	△865	△990
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△747	△1,734
非支配株主からの払込みによる収入	98	—
リース債務の返済による支出	△198	△226
その他	11	249
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,601	△2,301
現金及び現金同等物に係る換算差額	155	669
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,125	317
現金及び現金同等物の期首残高	15,009	15,203
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,135	15,521

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

一部の連結子会社は、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 財務諸表 計上額
	日本	米州	EMEA	アジア・ パシフィック	計		
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	16,311	5,731	6,108	6,705	34,856	—	34,856
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	16,311	5,731	6,108	6,705	34,856	—	34,856
セグメント間の 内部売上高又は振替高	4,178	229	810	3,445	8,665	△8,665	—
計	20,490	5,960	6,918	10,151	43,521	△8,665	34,856
セグメント利益	2,265	866	263	1,338	4,733	119	4,853

(注) 1. セグメント利益の調整額119百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 主として一時点で充足される履行義務となりますが、一部、一定の期間にわたり充足される履行義務が含まれております。なお、一定の期間にわたり充足される履行義務として認識した金額は軽微であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 財務諸表 計上額
	日本	米州	EMEA	アジア・ パシフィック	計		
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	19,627	7,781	6,909	8,862	43,180	—	43,180
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	19,627	7,781	6,909	8,862	43,180	—	43,180
セグメント間の 内部売上高又は振替高	5,716	278	1,149	5,360	12,504	△12,504	—
計	25,344	8,059	8,058	14,222	55,685	△12,504	43,180
セグメント利益	3,759	1,337	513	2,057	7,668	△108	7,559

(注) 1. セグメント利益の調整額△108百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 主として一時点で充足される履行義務となりますが、一部、一定の期間にわたり充足される履行義務が含まれております。なお、一定の期間にわたり充足される履行義務として認識した金額は軽微であります。

## 3. 補足情報

## (1) 連結業績概要

## ①第2四半期連結累計期間

(単位：百万円、%)

	2022年3月期				2023年3月期			
	第2四半期	前年同期比	通期	前年比	第2四半期	前年同期比	通期予想値	前年比
売上高	34,856	137.3	70,789	131.1	43,180	123.9	83,500	118.0
営業利益	4,853	298.5	9,672	239.3	7,559	155.8	13,400	138.5
経常利益	5,022	330.6	10,398	253.4	8,140	162.1	14,000	134.6
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	3,526	323.5	7,896	281.7	5,694	161.4	9,400	119.0

## ②四半期別推移

(単位：百万円)

	2022年3月期				2023年3月期			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
売上高	17,270	17,585	17,399	18,533	20,157	23,022	—	—
営業利益	2,300	2,552	2,340	2,477	3,153	4,406	—	—
経常利益	2,436	2,586	2,468	2,906	3,562	4,577	—	—
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	1,799	1,727	1,776	2,592	2,555	3,138	—	—

## (2) 製品別売上高

## ①第2四半期連結累計期間

(単位：百万円、%)

	2022年3月期				2023年3月期			
	第2四半期	前年同期比	通期	前年比	第2四半期	前年同期比	通期予想値	前年比
スイッチ事業	16,340	138.1	33,191	132.5	20,007	122.4	39,400	118.7
インダストリアル コンポーネンツ事業	6,724	140.6	13,625	139.0	8,521	126.7	17,000	124.8
オートメーション事業 /センシング事業	5,074	140.8	9,958	121.4	6,244	123.0	10,600	106.4
安全・防爆事業	4,316	139.9	8,908	136.8	5,554	128.7	10,900	122.4
システム	1,755	107.7	3,742	106.4	2,163	123.3	4,500	120.2
その他	644	143.9	1,363	153.0	688	106.8	1,100	80.7
合計	34,856	137.3	70,789	131.1	43,180	123.9	83,500	118.0

## ②四半期別推移

(単位：百万円)

	2022年3月期				2023年3月期			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
スイッチ事業	8,115	8,225	8,201	8,648	9,724	10,283	—	—
インダストリアル コンポーネツ事業	3,264	3,459	3,338	3,563	4,002	4,519	—	—
オートメーション事業 /センシング事業	2,499	2,574	2,453	2,431	2,578	3,665	—	—
安全・防爆事業	2,085	2,231	2,232	2,359	2,577	2,976	—	—
システム	901	853	890	1,097	950	1,213	—	—
その他	403	240	283	434	323	365	—	—
合計	17,270	17,585	17,399	18,533	20,157	23,022	—	—

## (3) 仕向地別売上高

## ①第2四半期連結累計期間

(単位：百万円、%)

	2022年3月期				2023年3月期			
	第2四半期	前年 同期比	通期	前年比	第2四半期	前年 同期比	通期予想値	前年比
国内売上高	14,649	127.4	30,904	125.4	17,264	117.8	34,200	110.7
海外売上高								
米州	5,725	146.9	11,532	135.5	7,731	135.0	—	—
EMEA	5,972	145.5	11,747	132.4	6,929	116.0	—	—
アジア・ パシフィック	8,509	144.5	16,604	138.8	11,255	132.3	—	—
海外売上高 計	20,206	145.5	39,885	135.9	25,916	128.3	49,300	123.6
合計	34,856	137.3	70,789	131.1	43,180	123.9	83,500	118.0

## ②四半期別推移

(単位：百万円)

	2022年3月期				2023年3月期			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
国内売上高	7,343	7,305	7,828	8,426	8,319	8,944	—	—
海外売上高								
米州	2,715	3,009	2,686	3,121	3,457	4,273	—	—
EMEA	2,975	2,996	2,772	3,002	3,314	3,615	—	—
アジア・ パシフィック	4,234	4,274	4,112	3,983	5,065	6,189	—	—
海外売上高 計	9,926	10,280	9,571	10,107	11,837	14,078	—	—
合計	17,270	17,585	17,399	18,533	20,157	23,022	—	—



## (4) 受注実績

(単位：百万円、%)

	2022年3月期第2四半期				2023年3月期第2四半期			
	受注高	前年同期比	受注残高	前年比	受注高	前年同期比	受注残高	前年比
日本	22,970	176.9	12,448	305.2	19,581	85.2	17,940	144.1
米州	7,405	171.6	3,520	208.3	9,390	126.8	6,635	188.5
EMEA	8,505	197.5	5,923	182.5	7,974	93.8	8,229	138.9
アジア・パシフィック	8,465	206.1	4,801	293.2	6,647	78.5	5,411	112.7
合計	47,347	184.1	26,694	250.6	43,593	92.1	38,218	143.2

## (5) キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

	2022年3月期				2023年3月期			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,126	3,119	861	3,545	△158	3,590	—	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△924	△748	△469	756	△602	△879	—	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,451	△1,150	△2,993	△2,983	△1,917	△384	—	—
現金及び現金同等物期末残高	14,826	16,135	13,831	15,203	13,039	15,521	—	—

## (6) 設備投資額

(単位：百万円、%)

	2022年3月期				2023年3月期			
	第2四半期	前年同期比	通期	前年比	第2四半期	前年同期比	通期予想値	前年比
連結	1,135	71.5	2,503	70.2	1,880	165.7	3,300	131.8

## (7) 減価償却費

(単位：百万円、%)

	2022年3月期				2023年3月期			
	第2四半期	前年同期比	通期	前年比	第2四半期	前年同期比	通期予想値	前年比
連結	1,617	109.5	3,264	109.5	1,720	106.3	3,600	110.3

## (8) 研究開発費

(単位：百万円、%)

	2022年3月期				2023年3月期			
	第2四半期	売上比	通期	売上比	第2四半期	売上比	通期予想値	売上比
連結	1,230	3.5	2,593	3.7	1,448	3.4	2,800	3.4